

島教協、知事部局に直接折衝も

九月十一日、県教委より提示があり、県の財政健全化に向けて、県職員全員の給与カットの継続が示された。期間は、平成二十年度から平成二十三年度までの四年間である。給与のカット率は、現行の六%である。

先の「財政健全化基本方針(案)の骨子」では、手当の見直し、給与カットの継続が示されたわけであるが、今回は、カット率・期間が明らかになったわけである。また、手当については、時間外勤務手当の縮減、特殊勤務手当の見直しが示された。

給与カットの継続については、平成二十年四月以降、概ね十年後において収支均衡を達成するまでの間継続する考えである。特別職、管理職については、特例減額を上乗せし、非管理職については、集中改革期間は、現行のまま、特例減額の変更はしない意向である。

ただし、集中改革期間後は、収支の状況等を勘案して対応することになるため、カットの継続も考えられる。

県は、職員定数削減計画に今後十年間で、さらに五百人の追加削減を考えているが、この中に、教職員は含まれていない。あくまでも計画的に教職員の採用をしていく考えである。

すべては子供たちのためというスタンスを貫いてきた私たち島教協ではあるが、今後ますますその困難性が増す教育の場において、職務に誇りを持って邁進するためにも、その職責に見合う給与体系の確立を今後ともねばり強く求めていくつもりである。

適切な人員配置を求める

給与カット、あと4年は6%カット継続!

参加者
募集中

教文研 平山諭先生講演会(出雲市民会館) 10/28(日)

教文研 教育シンポジウム四国(高知県) 11/24(土)~25(日)

今回示された今後の財政見通し(資料より)

改革後の財政見通し(試算)

(単位:億円)						
■改革前						
区分	H19	H20	H21	H22	H23	H20~H23累計
収支①	▲136	▲250	▲265	▲275	▲260	▲1,050
年度末基金残高	520	270	5	▲270	▲530	
◇改革による収支改善◇						
区分		H20	H21	H22	H23	H20~H23累計
収支改善額②		145	165	185	210	700
行政の効率化・スリム化		65	75	80	90	310
うち給与の特例減額		60	60	60	60	240
事務事業の見直し		15	25	35	50	120
財源の見直し		65	65	70	70	270
■改革後						
区分	H19	H20	H21	H22	H23	H20~H23累計
収支 ③=①+②	▲86	▲105	▲100	▲90	▲50	▲350
年度末基金残高	570	465	365	275	225	

社会総がかりでの教育再生

平成二十年度文部科学省概算要求

八月二十九日、文部科学省は、平成二十年度予算の概算要求を発表した。そのなかで、平成二十年度「重点施策推進要望」として、「子どもと向き合う時間の拡充及び教員の適切な処遇」、「公立学校施設の耐震化の推進」などがあげられている。

「子どもと向き合う時間の拡充及び教員の適切な処遇」について、具体的には次のような項目があげられている。

- ・教職員定数の改善
(教員の子どもと向き合う時間を拡充し、学力の向上と規範意識の育成を目指す教職員配置)
- ・優れた教員を確保するための
メリハリある教員給与体系の実現
- ・教員の子どもと向き合う時間拡充のための
外部人材活用事業

またこの他に、次のようなものが要求の中に盛り込まれている。

- ・小学校における英語活動等国際理解活動の推進
- ・全国的な学力調査の実施
- ・学校評価システムの構築
- ・教員免許更新制の円滑な実施
- ・道徳教育の充実
- ・いじめ問題等への対応や問題を抱える子ども
自立支援、教育相談体制の充実
- ・子ども一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進
- ・読書・学習活動を推進する学校図書館の充実
- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進
- ・公立学校施設の耐震化の推進など

一般会計の総額は、六兆三十九億円となる。

養護部会

八月八日(水)、第二回養護部会が出雲市内で開催された。アロマアドバイザー、アロマコーディネーターの竹田みどり氏を迎えての研修会であった。

△感想▽

当日は他の会合が予定されていたりして参加者が少なく残念だったが、質問が多く出るなど活発な研修となった。香りの持つ不思議な力、アロマの効果について理論を学び、そして実際の利用について実習を行った。実習では、バスソルト、万能クリーム、お香の三種を手作りした。添加物もいっさい入っていないので、心身の健康にとっても効果があると実感することができた。

(掲載が遅くなり、申し訳ありません)

学校紹介

益田市立吉田南小学校 出雲市立久多美小学校

吉田南小学校は、市の中心地を校区としています。市役所をはじめ金融機関等の建物が並び、商店街が連なっています。市立図書館、グラントワもあり、子ども達は、利用しやすい環境にあります。

また、南側には水田地帯もかかえ、街の様々な様子にふれることができます。

全校児童181名の子ども達は、自然にふれることが大好きで元気な子ども達です。

久多美小学校は、平田の北部にあり、全校生徒125名の学校です。

学校の自慢は、校庭にあるれんご園です。全校縦割りの「りんご園の仲間」を作り、摘果作業、袋かけ、収穫などを行っています。

つがる、ジョナゴールド、王林、ひめりんごなど、給食センターへ出荷するほど取れます。

専従から気になる詩を紹介

自分の感受性くらい
茨木のり子

ばさばさにかわいていく心
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて
気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを
近親のせいにはするな
何もかもへたくそだったのはわたし
かし

初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもが、ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れば
ばかものよ

